

# こむれび

第 46 号

理事長からのメッセージ

暑い夏が過ぎ、秋晴れの心地よい季節となりました。例年夏から秋にかけては、各事業所ではお祭り・イベントが目白押しです。平成29年2月、厚労省は「地域共生社会」の実現に向けての当面の改革工程を示しました。人と人、人と資源が、世代や分野を超えて丸ごと繋がることで、住民が主体的に支えあい、地域の資源を生かした豊かな暮らしを目指すという改革です。法人としても、地域住民をはじめ、地域の多様な主体が、「支え手」「受け手」という関係を超えて、「我が事」として参画することが地域課題の解決力になると考えます。「共に生きる」とは文字通り、地域において人と人が支えあう社会です。麗寿会におきましても、下欄「認知症カフェ」主催に代表されるように、専門職と要介護者家族との交流、多世代の参加者同士の交流の中から、自然に助け合いの道が開かれ、地域「丸ごと」のつながり強化になりますよう努めていきたいと思ひます。

理事長 大屋敷 幸志

## ● 認知症カフェの開催

私ども麗寿会では社会貢献活動の一環として、兼ねてよりサロン活動等を地域で開催することを計画して参りました。場所や運営方法に苦慮いたしましたが「ケアハウスふれあいの里」の地下1階スペースを活用出来ないものか検討を重ね、平成29年4月より『ふれあいカフェ』として、認知症の家族を抱える介護者を対象とした集いの場を発足しております。

この『ふれあいカフェ』は、介護されているご家族を主に、地域の方向けのサロンとして運営しております。目の離せない認知症の方を始め、ご本人同伴で介護されているご家族に広く参加して頂きたいと思ひ、茶話会形式での活動とさせて頂いております。

普段はなかなか話せない介護のご苦労や、成功例、失敗例などを通じて参加者同士での仲間意識、ご家族同士での助言などが、この集いを盛り上げる原動力となっております。

約半年の活動では、20名近くのご参加もいただく日もあり、「こんな場が欲しかった」「次回も参加します」等のお声もいただき大変嬉しく思っております。

開催頻度は、土曜・日曜と交互に月1回から始めており、当法人の専門職もサポートさせて頂いておりますので、ご相談も随時お受けしております。

ご家族皆様が“ほっ”とできる場を目指し、試行錯誤を重ねながら今後も継続して参りたいと思っております。是非、お立ち寄り下されば幸いです。



### ふれあい カフェ

毎月1回開催。ご気軽にご利用ください！

施設、介護で疲れたときこんな場所があるといいな・・・そんな介護者の方の声からできました。  
ふらっと立ち寄れる場所・・・  
ぼっと一息できる場所・・・  
ちょっとしたでいてみませんか？

**日時：10月15日(日) 11月18日(土) 12月17日(日)**  
**1月20日(土) 2月18日(日) 3月17日(土)**  
10時～12時(出入り自由)

**場所：ケアハウス ふれあいの里**  
(住所：堺市東区行徳5-2-1)

**参加費：1人 100円**  
(お茶代、お菓子代)

**対象：介護に興味のある方(予約不要)**  
(ご本人も一緒に参加したい方は1名からご参加ください)

**ボランティア募集**

毎月1回、カフェを準備してくれる  
方々募集！！ 経験者歓迎！！  
興味のある方は声を掛けてください！！  
ふれあいの里 0467-54-9111

2017  
10.1

No.  
46

1	理事長からのメッセージ	1	認知症カフェの開催	2	ふれあいの麗寿
3	ふれあいの森	4	ふれあいの泉	5	ふれあいの里
6	ケアセンター茅ヶ崎元町	7	ふれあいの家 こすもす	7	ふれあいの家 みのり
8	鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり	8	茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず		
8	小出地区地域包括支援センターわかば	8	編集後記		

## ● ふれあいの麗寿

ふれあいの麗寿は昨年10月の開所より、お陰様で1周年を迎えました。

この1年間、ご家族様、地域・自治会の方々、ボランティアの皆様、関係機関の皆様から多くのご支援・ご協力を賜りました。心より厚く御礼申し上げます。

当施設は、入所者様に『何気ない毎日に楽しみを!』と、日々の生活を支援させて頂いております。中でも、季節感のある生活を実感して頂けるよう、季節の行事・活動に注力しております。毎月の誕生日会、新年祝賀会、節分、ひな祭り、お花見、こどもの日…と、年中行事に合わせて行事委員会を中心に施設全体で開催しております。行事委員会では、『メンバー自らが入所者様を楽しませたい♪』の考えに沿って活動しており、節分の鬼役はもちろん、こどもの日にはメンバーが子供に扮して施設内を練り歩いたり、歌を歌ったりして行事を盛り上げました。毎回、工夫を凝らした内容にご入所者様からはご好評頂いております。併せて、ボランティアさんによるイベントも積極的に開催しております。専属職員として、ボランティアコーディネーターを配置し、ご入所者様のリクエストと活動して下さるボランティアさんの思いをつなぎ合わせています。ボランティアさん同士のつながりも生まれ、ボランティアの輪が大きく広がり、ご入所者様の楽しみが増えております。傾聴、ピアノ演奏、木管楽器演奏、マジック、歌、フラダンス、体操、ギター、マンドリン、囲碁と様々な内容にて個人または団体で活動をお願いしているところです。

また、地域の皆様からも多くのご支援を頂いております。福祉講座においては、毎回多くの地域住民の皆様にご来場頂いており、地域の実情を知り得る有難い機会となっております。浜降り祭や例大祭では、お神輿まで立ち寄って頂き、車イスから立ち上がるほどご入所者様は喜ばれておりました。

引続き、地域の力をお借りしながら、地域に必要とされる施設を目指していきます。これからも宜しくお願い致します。

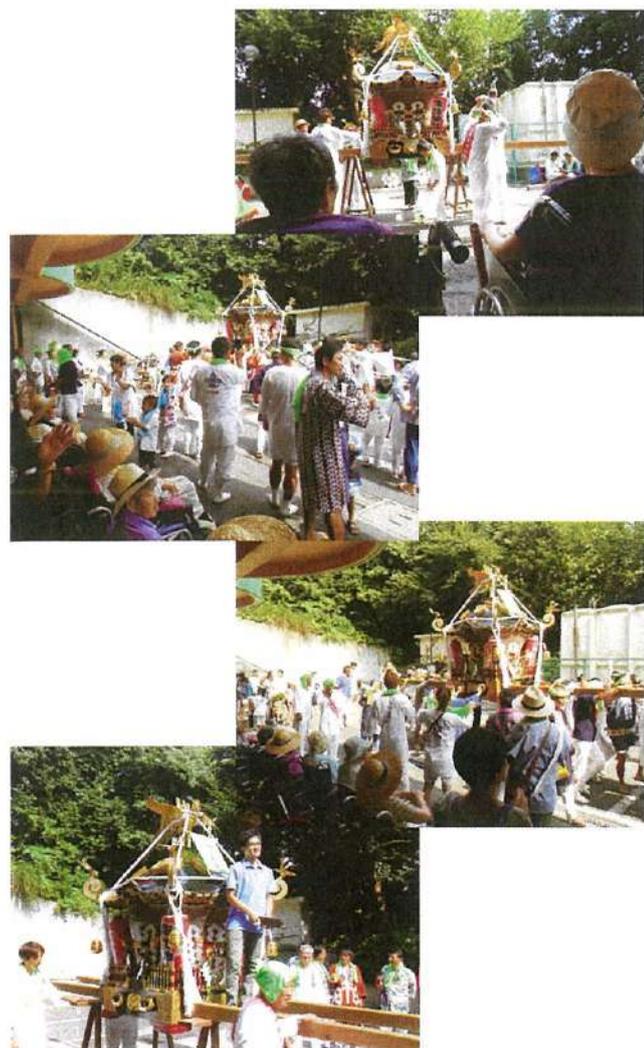


## 特 養

茅ヶ崎の夏と言えばお祭り！入所者様の8割が茅ヶ崎出身のため、お祭りには馴染みがあります。8月27日、毎年恒例の諏訪神社のおみこしが立ち寄られました。子供神輿、お囃子、大人のお神輿とふれあいの森の駐車場が人でいっぱいになります。お神輿が出発する際の茅ヶ崎甚句の「どっこい、どっこい」の掛け声。とても迫力があります。利用者様もお神輿に触ったり写真を撮ったり楽しまれ、「私の地元のお祭りの神輿は…」と若いころに参加したお祭りを懐かしむ声も聞かれました。また、浜降祭にあわせて地元へ帰り、お祭りに参加された方もいます。

ふれあいの森と下寺尾の自治会はお祭り以外にも防災訓練に参加して頂いたり、地域の清掃にも参加し地域交流を行っています。

今後も“ふれあいの森”が地域の一員として共生できればと考えます。



## デイサービス



ふれあいの森デイサービスでは、利用者様中心のケアを目指し、楽しみながらご本人の望む生活を支援したく取り組んでいます。

趣味や興味のある事を行ったり、ユーチューブを活用して回想法や仲間作りを行っています。日々のアクティビティや定期的なイベント等を通し、楽しみや役割を持った生活の支援をしています。



日頃より地域の様々な団体に来訪頂き交流を深めています。夏祭りでも地元のお囃子保存会、参加型の車椅子ダンスや盆踊り、越中おわら風の盆、マジックショーなど非日常的な時間を楽しんで頂きました。バンド演奏では茅ヶ崎小唄を皆で唄い大いに盛り上がりました。

地域の中での施設、今後も地域の一員として交流を深めていきたいと願っています。お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。

## ● ふれあいの泉

ふれあいの泉では7月17日、海の日に夏祭りを開催しました。

今年も晴天に恵まれ、ご入居者様、ご家族様をはじめ、近隣の方や子供たちもたくさん来場され、とてもにぎわいました。

屋台はたこ焼き、わたがし、アイスなど子供たちの大好きなものばかり!

遊びコーナーの屋台も人気で、みんな目一杯遊んでくれました。

また今年あらたに鎌倉野菜の詰め放題をおこなったり、ご近所の焼菓子店チコカフェさんの出店があったりと近隣にもご協力をいただくことができました。

たくさんのお客様のおかげで、ご入居者様もお祭りの雰囲気を楽しむことができたようです。

また、大勢のボランティアさんにもご協力いただいたおかげで、事故もなく無事に開催ができ、昨年よりも多くの来場となりました。ふれあいの泉の夏祭りが、地域の方の楽しみとなるよう、また来年も張り切って企画したいと思います。



## ふれあいの里

ふれあいの里では、毎月季節を感じる行事、又ご要望の多かったイベントを行っております。

### ○散歩クラブ 花めぐり

美しい花にめぐり合える春の到来です。4月の満開の桜、5月には藤・つつじ・八重桜と咲き誇るバラ、そして、6月は小出川・里山公園・浄見寺をぐるりとドライブして新緑と紫陽花を楽しみました。ボランティアの方と一緒に、季節の風を感じながらの散策は、心が満たされるすてきな時間です。

### ○グルメツアー 三崎丸 5月29日

今回のグルメツアーは茅ヶ崎ラスカにある三崎丸。皆様が大好物のお寿司の食事会には、23名の方が参加してくださり、車3台を連ねて出発です。期待通りの新鮮で美味しい旬のお寿司を楽しみ、笑顔で会話を楽しみ、ご満足いただいた食事会となりました。

### ○家族懇談会 6月25日

家族懇談会には、19家族27名の方がご出席下さり、28年度会計報告・事業報告、29年度事業計画を報告させていただきました。また、里の生活を映像におさめてご覧いただきました。レンズ越しの笑顔にご家族の皆様も安心してくださったでしょうか。里の平均年齢は84.8歳、介護保険ご利用者は6割を超えますが、家族の皆様のご支援と適切なサービスを利用することで、お元気に自立した生活を送られていらっしゃることは、何よりもうれしく、心からの感謝でございます。

### ○円蔵中学校 体験学習 7月5日

6名の中学生がそれぞれ学習の目標を立て、福祉体験に臨みました。午前中は施設の概要、高齢者の体と心について学び、里喫茶や七夕飾りで交流を深めた後、入居者さんと生徒さんの意見交換会となりました。「どんな生活をしているか」、「楽しみ」や、「心がけていることは」の活発な両者の意見は、高齢者にも、若い人にも、一人ひとりの生き方や希望や思いがあることを互いに知る機会となりました。活動を通して生徒さんが自らの生き方を考え、行動する力を身につけ、介護の魅力ややりがいを見つける小さな手助けになればうれしいです。

### ○夏祭り 8月20日

祭囃子の音楽が響き、懐かしい駄菓子屋もオープンして、夏祭りの始まりです。ゲーム、西瓜割り、カラオケ大会、喫茶に40名の方が参加して下さり、提灯の下は大盛況です。夕食は希望の多かった「うな重」にスイカ、とうもろこし、枝豆、ビールの夏メニュー。ふっくらと柔らかな「うな重」の何と美味しかったことでしょう。厨房の皆様有難うございました。皆様の満面の笑みに夏祭りバンザイ!



## ● ケアセンター茅ヶ崎元町

ケアセンター茅ヶ崎元町は、日常生活の中で、ココロもカラダも更に元気になって、生活の潤いも増す『もう一つの自分の居場所』を目指しています。

今回は、年3回行われている元町ケアセンターに併設されている居宅支援事業所が実施した『家族の集い』について紹介いたします。『家族の集い』は、平成25年1月に行った居宅支援事業所の満足度調査で「介護をしている方同士で交流する機会がほしい」という意見があったことがきっかけで実施することになった集いです。

今年度は、看取り介護をする方が増えていることを踏まえ「ご自宅で看取られた方」の体験談と「介護をしていたけれど施設に入居された方」のお話を聴く機会を作りました。在宅介護の限界を感じるようになった夜間の介護の大変さや、施設に入ることに決まってもずっと迷っていた介護者の心情、介護者と施設職員との関り方などのお話を聴ける機会となりました。

『家族の集い』により「なかなか人に聞けなかったことが聴けた」「話を聞くことで、介護はお互いを支えあっていると考えると気持ちが楽になり、やさしくなれるように感じた。」などの意見をいただいております。これからも継続していきたいと考えております。



## ふれあいの家 こすもす

- ・ボランティアさんの演奏でハワイアン。一緒に踊れたらもっと楽しいでしょうね。今度は教えて頂いて踊りたいと思います。こすもすはボランティアさんにいつも助けられています。外出レク、買い物レク、外食など・・・本当に助かっています。感謝しかありません。
- ・春先の近所の藤棚、見事に咲いていました。たまたまつつじを見に散歩に出た先にあったのです。来年はお茶か、お弁当を持って行きたいと話しています。これからの季節も別の花が待っています。ドライブ、散歩へレッツGO！
- ・こすもすと同じ建物内に子育て支援センターがあります。そこに遊びに来る子供達を見る楽しみもあり、広い駐車場でお茶を飲むことができます。9月には子供達と交流があります。交流会では通所サービスの利用者様も参加され、皆さんに毎回とても喜ばれています。子供の声、笑顔が一番の癒しであり楽しみかもしれません。
- ・外食や近所のスーパーにお弁当を買いに行くこともあります。食べ過ぎて太らないようにしなくては…

☆でもご自分で選んだものを食べると、  
皆さん最高の笑顔になるので  
やめられませんね。  
へへ（職員の独り言）



誕生会のウクレレ演奏



こすもすの近所の藤棚見学

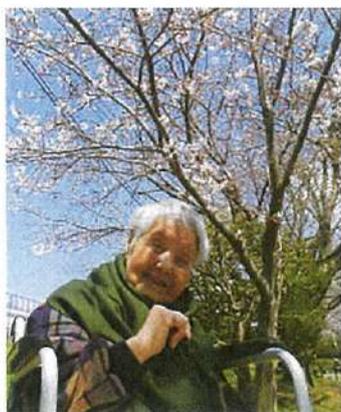


天気の良いので外気浴



2カ月に一回の歌レクリエーション

## ふれあいの家 みのり



ふれあいの家みのりは、平成25年4月に茅ヶ崎市柳島から南湖へと移転（増設）し、新規事業として4年の歳月が経ちました。ここまで地域に根ざした運営が出来ましたことは、地域の皆様のご理解があつてのことと思います。地域行事にも積極的に参加させて頂いておりますが、自治会長様はじめ、近隣の方とのふれあいはあたたかくご入居者様はいつも喜んで下さいます。今回は春から夏にかけてのお写真を掲載させて頂きました。特に夏の浜降祭は毎年お神輿がみのりの目の前を通過するので大変賑わいます！外出や地域行事など参加されている皆様のお元気なお姿を拝見しますとケアをさせて頂いている我々職員一同もハッピーな気持ちになります☆



## ● 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

包括支援センターみどりでは8月29日(火)に鶴嶺西地区ボランティアセンターの勉強会にお招きいただき、「新しい介護保険制度について」と題して講師をさせていただきました。ボランティアセンターの方々には常日頃から介護保険制度では対応できない部分の支援で連携を取らせていただくことが多く、大変お世話になっております。今回の勉強会でも実際の事例を交えたお話をさせていただき、質疑応答のコーナーでは皆さんと今後の連携のあり方について一緒に考えていく大変良い機会となりました。地域包括ケアシステムの構築に向け、これからも地域の皆さまとの連携をより一層深めていけるよう取り組んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



## ● 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

今年度も茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆずでは地域の皆さま誰でも参加していただける体操教室「ゆずクラブ」を5月から開催しております。11月はいったんお休みとなりますが、12月からまた再開いたしますので、ご興味のおありの方は是非、ゆずまでお問い合わせください。  
(tel: 0467-84-5830)



## ● 小出地区地域包括支援センターわかば

7月23日(日)小出コミュニティセンターまつりに『わかば』が出展しました。今年は毎年恒例の血圧測定・健康相談に加え、『私のイチオシ! 小出のよい所!!』と銘打って来場された方に小出愛を付箋に書いて頂きました。集まったメッセージ、その数なんと106枚! 断トツの1位は『豊かな自然』、次いで2位は『小出の人のあたたかさ』でした。私達わかば職員も小出の良さを再確認し、より一層小出への愛を膨らませました。



### 編集後記

昨年10月、新特養「ふれあいの麗寿」がオープンしてから丸1年が経過しました。この間、施設としての様々な課題に対し、行政ならびに第三者評価委員から貴重なご指導をいただき、着実な運営を目指し歩んでおります。

昨今、福祉の重要な担い手として、経営の透明性・公益性の確保と地域における公益的な活動の推進が強く求められております。特に多様化、複雑化する地域ニーズに対応する柔軟な知恵と実践力が、地域住民等の信頼を得るサービス内容や供給体制に繋がります。福祉法人としての主体的な取り組みを発信できるよう職員一同知恵を絞ってまいります。

法人事務長 鳥羽 芳弘



社会福祉法人麗寿会では、行事やイベント、各施設の取り組み等を「facebook」にて随時公開しております。

麗寿会WEBページからのリンク、もしくは本誌QRコードからアクセスできますので、ぜひご覧頂ければと存じます。